

2021年7月期 第2四半期決算説明会

株式会社内田洋行

2021年7月期 第2四半期業績結果（連結）

昨年につづいて、上期売上高として史上最高値を更新

単位：百万円

| | 2020年7月期 (第2四半期) | 2021年7月期 (第2四半期) | 増減 | |
|-------|---------------------|---------------------|--------|----------|
| 売上高 | 89,986 | 98,564 | +8,578 | (+9.5%) |
| 売上総利益 | 20,769 | 19,223 | △1,546 | (△7.4%) |
| 販管費 | 16,853 | 16,804 | △49 | (△0.3%) |
| 営業利益 | 3,916 | 2,419 | △1,497 | (△38.2%) |
| 経常利益 | 4,137 | 2,920 | △1,217 | (△29.4%) |
| 当期純利益 | 1,790 | 1,546 | △244 | (△13.6%) |

セグメント実績 ～公共関連事業分野～

2020年7月期 (第2四半期) 2021年7月期 (第2四半期) 単位：百万円
上段：売上高/下段：営業利益

公共関連事業

| | | | |
|--------|--------|---------|-----------|
| 40,367 | 50,405 | +10,038 | (+ 24.9%) |
| 2,974 | 2,346 | △628 | (△ 21.1%) |

GIGAスクール構想案件の売上高は大きく増大

学校・自治体・公共図書館の感染症対策にともなう、備品整備やシステム需要が伸びる。

前年同期に複合型の教育ICT大型案件が多数を占めたことに対し、GIGAスクール構想案件の補助金対象は端末が中心で収益率は低い

セグメント実績 ～オフィス関連事業分野～

2020年7月期 (第2四半期) 2021年7月期 (第2四半期) 単位：百万円
上段：売上高/下段：営業利益

オフィス関連事業

| | | | |
|--------|--------|--------|----------|
| 23,190 | 19,899 | △3,291 | (△14.2%) |
| △375 | △976 | △601 | (-) |

新型コロナウイルス感染症の影響でオフィスの小型案件は、一部延期・中止が継続している

首都圏の大型移転案件は順調

印刷関連市場では感染症拡大による需要減少が顕著、国内外ともに低調

セグメント実績 ～情報関連事業分野～

2020年7月期 (第2四半期) 2021年7月期 (第2四半期) 単位：百万円
上段：売上高/下段：営業利益

| | | | |
|--------|--------|--------|-----------------|
| 情報関連事業 | 26,061 | 27,841 | +1,780 (+ 6.8%) |
| | 1,254 | 931 | △323 (△ 25.8%) |

前年同期にあったWindows10更新需要の反動

大手企業向けのソフトウェアライセンス販売は引き続き高水準

コミュニケーションを広げるためのデバイス整備、クラウド環境へのシステム移行など堅調

利益面では、前年同期に食品業での軽減税率導入にともなうシステム改修が多数あった反動

内田洋行グループを取り巻く環境

2020年4月-6月期の経済活動の急激な落ち込みから製造業を中心に回復も、昨年末からの感染症再拡大で個人消費は再び低調となる。産業別には非製造業の一部では厳しい状況がつづく二極化が進む状況となり、経済の先行きは不透明が残る。

2021年秋の政府デジタル庁設置が、官民ともにデジタルトランスフォーメーション（DX）の速度を一気に速めるきっかけとなり、またこれはICTを軸とした働き方変革も速めると思われる。

民間市場では、先行き不透明感から投資には慎重であるが、大企業では競争力強化のためのIT投資を積極的に進めている。

公共市場では、コロナ対策にともなう国の巨額の財政支出が行われ、IT投資も増大している。将来の人材を育成する観点からGIGAスクール構想が一気に進む。

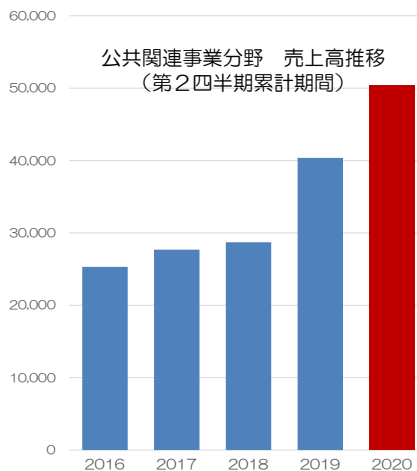
内田洋行グループのマトリクス別傾向（第2四半期）

| | 民間 | 公共 |
|------|---|--|
| 環境構築 | 民間市場 ドキュメント&ECO ●ドキュメント&ECO ●デジタルフィジカル ●ホビーコンソフト 文具 | 文教市場 小中学校 ●理化学機器 ●特別支援 ●学校向け遠隔サービス |
| | 民間市場 オフィス関連 ●オフィス環境の企画開発 ●オフィス設計・構築・移転 ●働き方変革コンサル | 文教・公共市場 学校・公共施設等 ●学校・公共施設設備 ●官公庁自治体オフィス構築 ●大学コンサル、環境構築 |
| ICT | 民間市場 大手民間企業 ●ネットワークソリューション ●ソフトウェアライセンス ●IT資産管理 ●クラウドネットワークサービス | 文教市場 教委・小中高大 ●教育ICT ●大学ICT ●教育クラウドサービス |
| | 民間市場 中堅中小企業 ●業種別ソリューション ●業種別クラウドサービス ●業種別ネットワークサービス | 官公自治体市場 省庁・自治体・図書館・福祉 ●官公庁自治体向けICT ●福祉業務ソリューション ●ICT図書館ソリューション ●公共クラウドサービス |

第2四半期決算のポイント

GIGAスクール構想案件獲得が拡大

ICT関連



GIGAスクール構想案件の獲得で教育ICTビジネスが牽引

前年同期にあった教育ICT大型案件がなくなるも大幅に伸張

GIGAスクール構想案件は国からの補助対象が端末中心、収益率は低い

GIGAスクール構想案件で強みの理由

ICT関連

従来からの学校でのサポート実績に加えて、競争力のある総合的な体制強化が顧客から高く評価されたことで受注が拡大

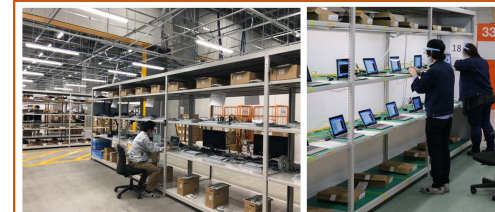
従来からの学校でのサポート実績

PC教室、普通教室、校内LAN等での豊富な導入事例（大規模導入事例含む）



数多くの導入やサポート経験が評価される

キitting・学校専任SE体制



- キitting機能を増強（新施設オープン）
- 経験豊富な学校専任SEが対応する
- マルチベンダー導入・保守
Windows/iOS/Chrome OSあらゆるOSの導入・保守に対応

学校でのコロナ対策

環境構築関連

全国小中学校を網羅した教育機器販売ルートで感染対策製品を展開

「教育用品通信販売ウチダス」



全国の学校への販売、商品アイテム21,700点

第2四半期売上高
前年同期比
145%

「学びの保障」で国の補正予算から感染症対策としての消耗品、備品の整備が進む

| 品名 | 価格 |
|--------|--------|
| 1) 消毒剤 | ¥1,000 |
| 2) 消毒液 | ¥1,000 |
| 3) 消毒液 | ¥1,000 |
| 4) 消毒液 | ¥1,000 |

自治体のコロナ対策

ICT関連

図書館 予約本貸出システム

～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金「図書館パワーアップ事業」～

予約本の照会・受取・貸出までを利用者自身で実施
職員との接触なく利用が可能に



自治体ICTの拡大

ICT関連

自治体の窓口業務をマイナンバー対応

中核都市中心に10自治体導入(予定)

「マイナンバーカード
対応記帳台」



●LINE連携(かんたん事前申請)

LINEの専用トーク上で必要情報を入力、発行されたQRコードで簡単申請



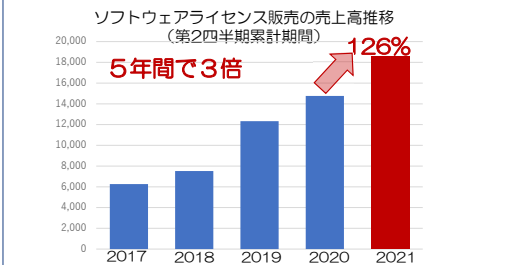
大手民間市場ICTの拡大

ICT関連

大手民間企業のDXが活発化

ライセンスの規模拡大 マイクロソフト365上位ランク契約が広がる

- 海外展開する企業でITリソースを日本で集中購買する動きが進行
- テレワークでデバイス増、モバイルワーク拡大
- セキュリティリスク回避で管理の外部委託進む



コミュニケーションを広げるための デバイス整備、クラウド移行が進む

コラボレーション

- グループウェア
- 電子ボード



Web会議環境

- ネットワーク
- セキュリティ

ペーパーレス化

- ペーパーレス会議
- ワークフロー電子化

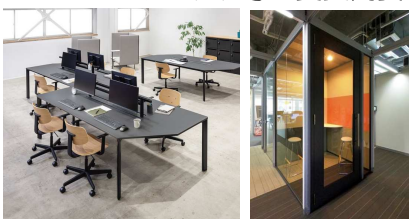
ICTを軸とした働き方変革の
環境整備が進む

企業のコロナ対策

環境構築関連

アクリルパネルの設置、オフィスレイアウト変更などが増加

ニューノーマル時代での レイアウト等の変更需要



感染症に関するオフィス内の対策需要



アクリルパネル

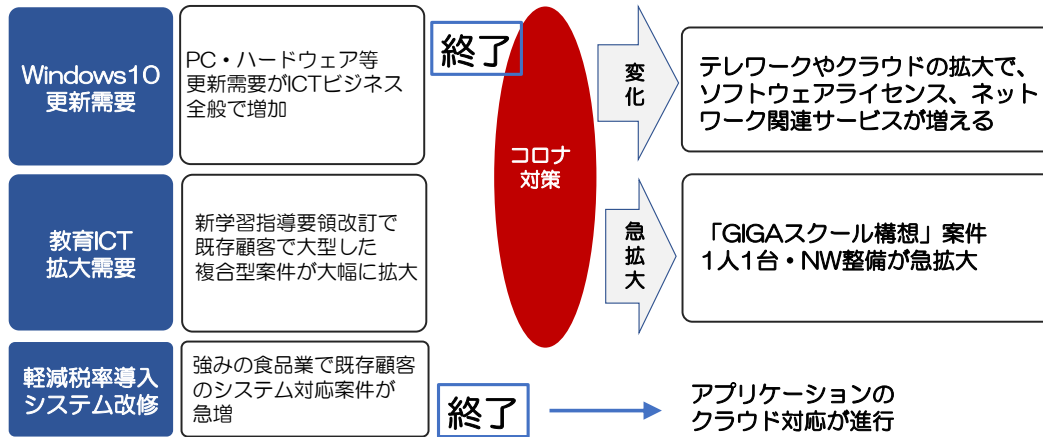
抗ウイルスチェア

コロナ対策では投資が行われているが、
企業の新規投資はまだ慎重にある

ICT関連ビジネス 需要変化

2020年7月期

2021年7月期



環境構築関連ビジネス 需要変化

2020年7月期

首都圏
オフィス需要

2020年度に首都圏
オフィスビル需要が拡大
働き方改革でオフィスの
再構築が進む

その他
オフィス需要

自治体

学校の需要

コロナ
対策

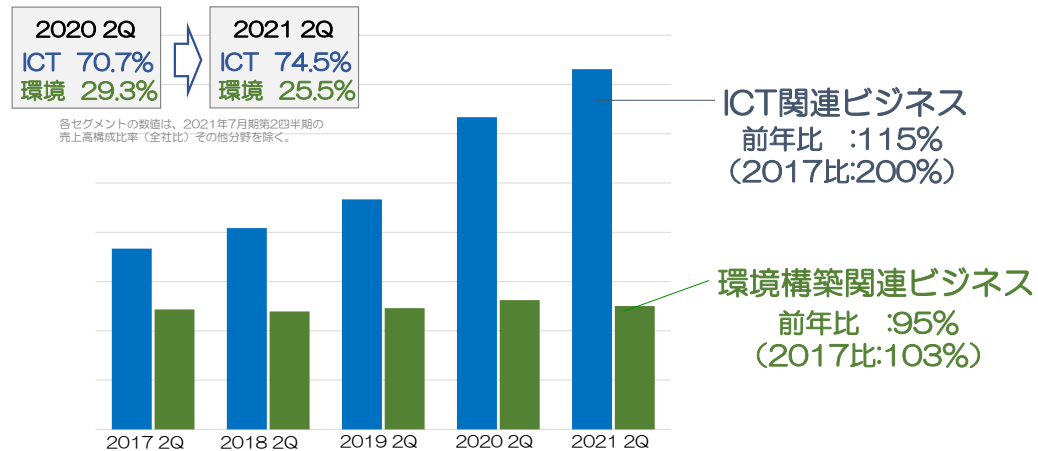


2021年7月期

- 順調 → オフィス大型移転は順調も3Q以降
- 増加 → オフィスレイアウト変更案件の増加
- 増加 → 感染症拡大の防止策商談が増加
- 延期 → オフィス小規模案件の一部は中止・延期
- 低迷 → 印刷関連市場は国内外で低調
- 増加 → 自治体で感染症拡大の防止策需要が増加
- 急拡大 → 学校への国感染症対策予算が増加

第2四半期のビジネス別実績推移

ICT関連ビジネスが上期の業績を牽引



各セグメントの数値は、2021年7月期第2四半期の
売上高構成比率(全社比) その他分野を除く。

2021年7月期 通期の見通し

上方修正について

単位：百万円

| | 2021年7月期 当初予想 | 2021年7月期 修正予想 | 増減 |
|-------|------------------|------------------|-----------------|
| 売上高 | 240,000 | 260,000 | +20,000 (+8.3%) |
| 営業利益 | 6,000 | 7,600 | +1,600 (+26.6%) |
| 経常利益 | 6,500 | 8,200 | +1,700 (+26.1%) |
| 当期純利益 | 3,800 | 4,700 | +900 (+23.6%) |

2021年7月期 連結業績予想

単位：百万円

| | 2020年7月期 実績 | 2021年7月期 今回予想 | 増減 |
|-------|----------------|------------------|------------------|
| 売上高 | 200,307 | 260,000 | +59,693 (+29.8%) |
| 営業利益 | 7,242 | 7,600 | +358 (+4.9%) |
| 経常利益 | 7,834 | 8,200 | +366 (+4.6%) |
| 当期純利益 | 3,490 | 4,700 | +1,210 (+34.6%) |

上方修正の要因

政府の大型補正予算による文科省「GIGAスクール構想」
関連が好調に推移する見通し

民間市場のICT需要がコロナ禍でも順調

民間・公共ともに「ICT関連ビジネス」が拡大する見込み

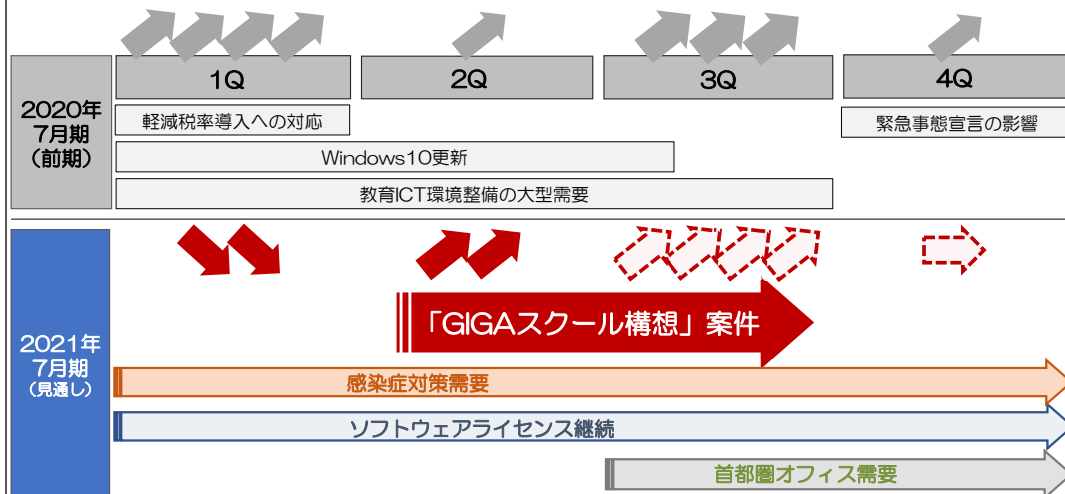
首都圏オフィス需要は下期には需要の回復を見込む

2021年7月期 セグメント別見通し（通期）

単位：百万円

| 上段：売上高 下段：営業利益 | 2020年7月期 実績 | 2021年7月期 今回予想 | 増減 |
|-------------------|-----------------|------------------|-----------------------------------|
| 公共関連事業 | 73,852 4,414 | 130,300 5,400 | +56,448 (+76.4%) +986 (+22.3%) |
| オフィス関連事業 | 49,100 153 | 47,500 △600 | △1,600 (△3.3%) △753 (-) |
| 情報関連事業 | 75,549 2,495 | 81,400 2,600 | +5,851 (+7.7%) +105 (+4.2%) |
| その他事業 | 804 56 | 900 100 | +96 (+11.9%) +44 (+78.6%) |

今期もつづく四半期毎の売上高変動の要因



GIGAスクール構想案件の導入見通し

GIGAスクール構想向けの対策が機能し、好調に推移する見通し

2021年7月期（当社導入予測）

端末 約130万台

校内LANの設計構築に加え、無線アクセスポイント、充電保管庫も大量の導入を見込む

GIGAスクールの意義を踏まえて社会的責任を果たす

過去に例のない、大量の端末導入、全国一斉の利用が学校で始まる

市場全体では小中学校3万校に700万台以上の端末の導入がされたことが予想され、学校現場では大きな混乱も予想される

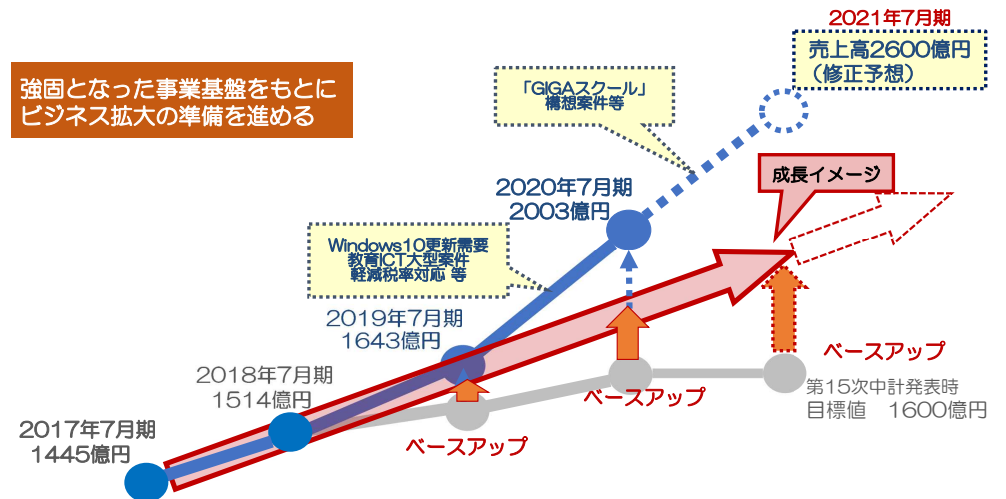


豊富な経験値をもとに立ち上げと安定稼働を支援する
(人的支援・サポート支援など)

中長期の取り組みについて

将来に向けて着実なベースアップを図る

強固となった事業基盤をもとに
ビジネス拡大の準備を進める



ベースアップの具体策

- 1人1台端末導入後に向けた教育ICTの今後の展開
- 民間ICTビジネスでの強みの領域拡大
- 環境構築とICT構築の両面から進める働き方変革

1人1台端末導入後に向けた教育ICTの今後の展開

小中学校 全国3万校

900万人の児童生徒

100万人の教職員

全国の学校で推定1000万台の端末が活用される
(多くの家庭でも利用される可能性)

適切に使える環境にする必要性が高まる

教員支援サービスの拡充

IT支援員・教育研修のノウハウ集積

ICT環境整備の設計、使用マニュアル作成
工事や納品対応、使用方法周知など、
多様な支援メニューを整備

IT支援員サービスを展開

1人1台端末/無線LANネットワーク
構築の豊富な実績

拡充

「ICT支援員サービス for GIGAスクール」

利活用支援サービス

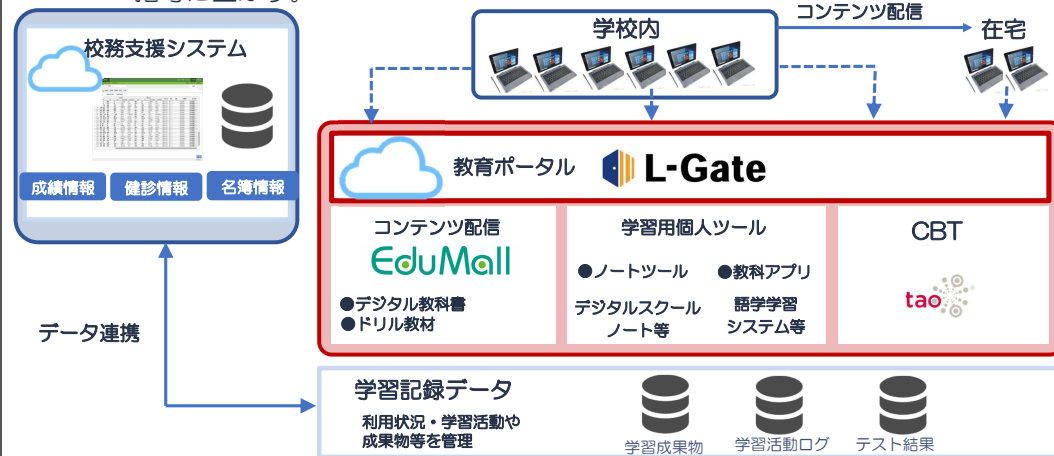
| | |
|------|---------------------------------|
| 研修 | 1人1台環境を活用した授業デザインの研修 |
| 授業支援 | ICTの活用提案や教材作成支援 |
| 校務支援 | システムの操作支援やホームページの更新支援など校務の効率化支援 |

マネージドサービス

| | | | |
|---------|---------------------------------|--------|-------------------------------|
| ヘルプデスク | ICT機器に関するお問い合わせにお応えするサービス | ICT支援員 | 授業におけるICT活用提案、操作支援、校内での研修サービス |
| サービスデスク | 管理者からのネットワーク管理の問い合わせ等にお応えするサービス | 運用SE | 専任のSEを配置し、システム運用全般をサポートするサービス |

1人1台のデータを生かす教育プラットフォームの強化

リアルタイムな双方向の学習をサポートし、1人1人の学習状況に応じた指導に生かす。



先行するコンテンツ配信「EduMail」を広げる

豊富な導入実績から学校のネットワーク環境に適応し、1人1台利用を促進

学習コンテンツへの展開

- 小・中学校 学習者用デジタル教科書の配信開始



- 令和3年度「文科省学習者用デジタル教科書普及推進事業」でのEduMailからの配信提供
- 新学習指導要領対応（英語・プログラミング等拡充）
- 学習者向けドリル教材等拡充

安定したコンテンツ利用環境強化

- 1人1台のライセンス管理・アカウント発行対応
- 膨大なアクセスに対応した認証・配信機能の強化
- 学校・家庭、様々なネットワーク環境からでもコンテンツの同期をはかるシステム環境
- ネットワーク障害時に備えたキャッシュBOX利用に対応

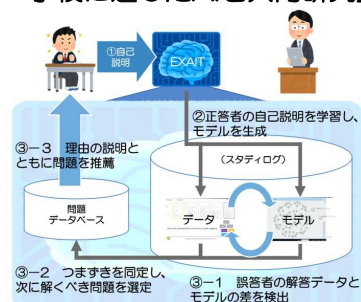
「EduMail」導入実績

累計420自治体 7,200校

2021年3月現在

産学共同研究および成果の普及

京都大学学術情報センターと「学校に適したAIを共同研究」



実証研究を開始

2020年9月～
京都市内
小中学校2校

2021年4月～
滋賀県立
高等学校2校

北海道教育大学と包括提携「これからの教員養成のための共同研究」

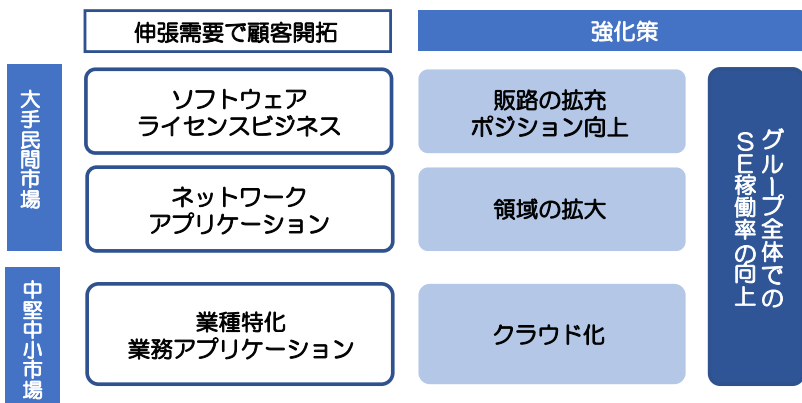
1人1台端末環境の整備で
教育方法が大きく変わる

教員養成の進化を目指す
北海道教育大と包括契約

北海道教育大で「未来の学習空間」
構築を支援、共同研究を開始

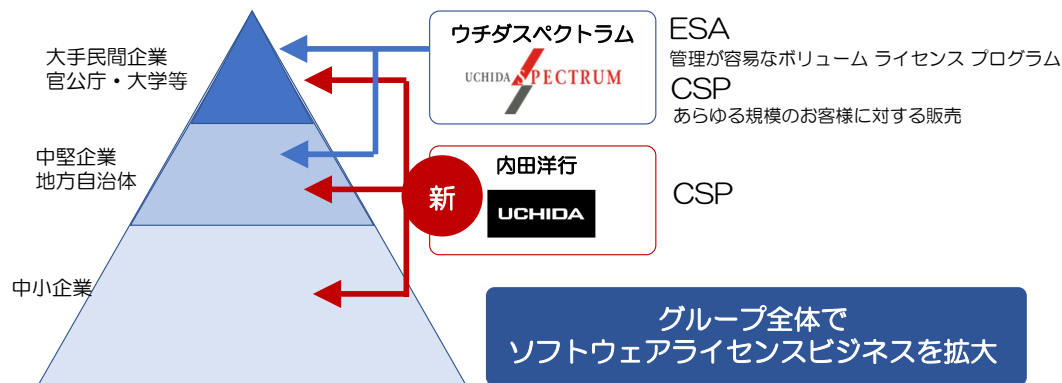
民間ICTビジネスの強みの拡大

ネットワーク周辺需要の拡大に対応する



ソフトウェアライセンスの販売強化

ウチダスペクトラムとともに内田洋行本体も
マイクロソフト クラウド・ソリューション・プロバイダー (CSP) のパートナー契約



業種向けアプリケーションのクラウド対応

強みのあるアプリケーションをクラウド対応

| | | | |
|--|---|--|--|
| <p>食品業・化成品業</p> <p>スーパーカクテル Core FOODs</p> <p>食品業向けERP市場 5年連続 シェア No.1</p> <p>導入実績1,100社</p> | <p>建設業</p> <p>建設・工事業ERPシステム PROCESS</p> <p>350社</p> | <p>マンション管理業</p> <p>顧客&物件情報データベース</p> <p>マンション2i Smaw</p> <p>200社</p> | <p>高齢者福祉</p> <p>2020年末 リリース</p> <p>700施設</p> |
|--|---|--|--|

強みのソリューションをクラウド化、中堅中小市場を深耕

環境構築とICTの両面から進める働き方変革

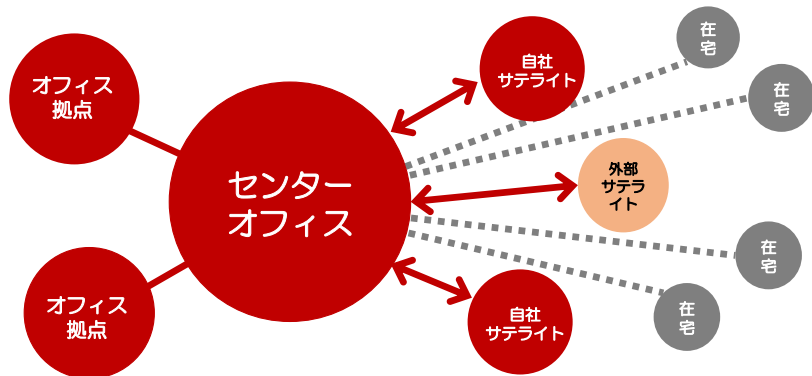
UCHIDA FAIR 2021での発表から
2020年12月～開催

WORK

(“ワークブランク”と読む)

働く人たちが多様なワークシーンを描き、選択をしていく
このブランク に選択した仕事と場所が入る

コロナ禍で進展した拠点見直しの変化しながら定着

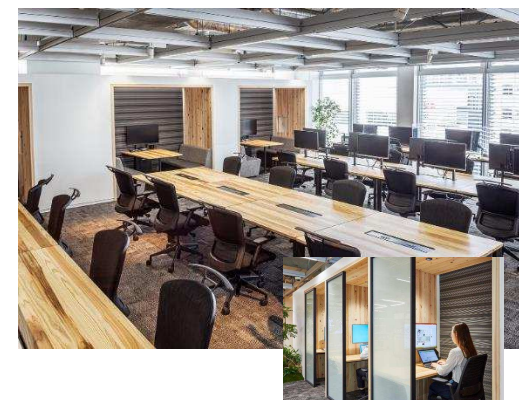


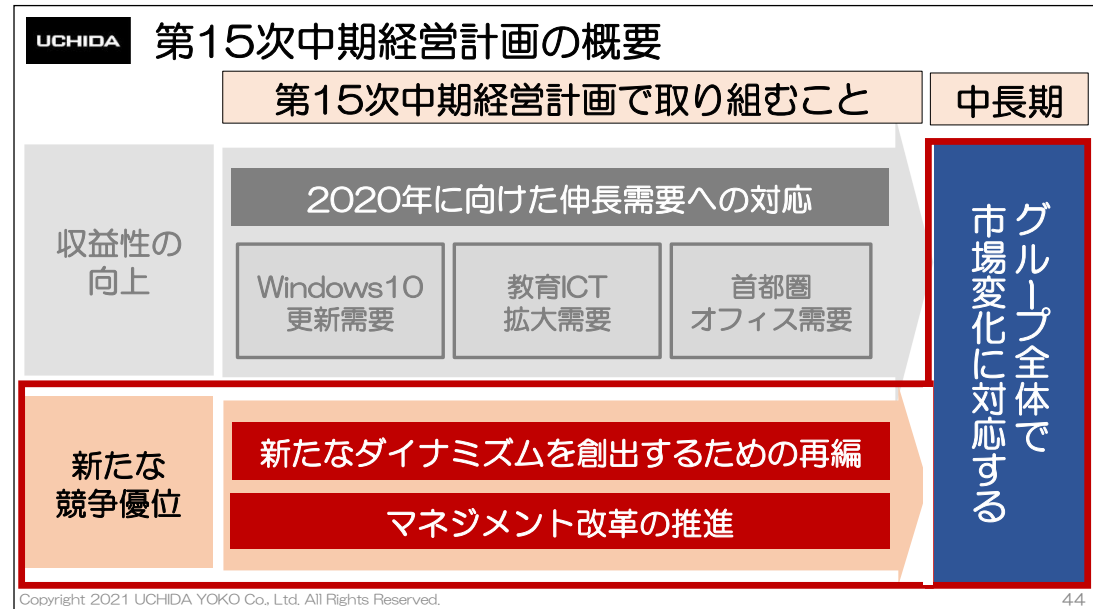
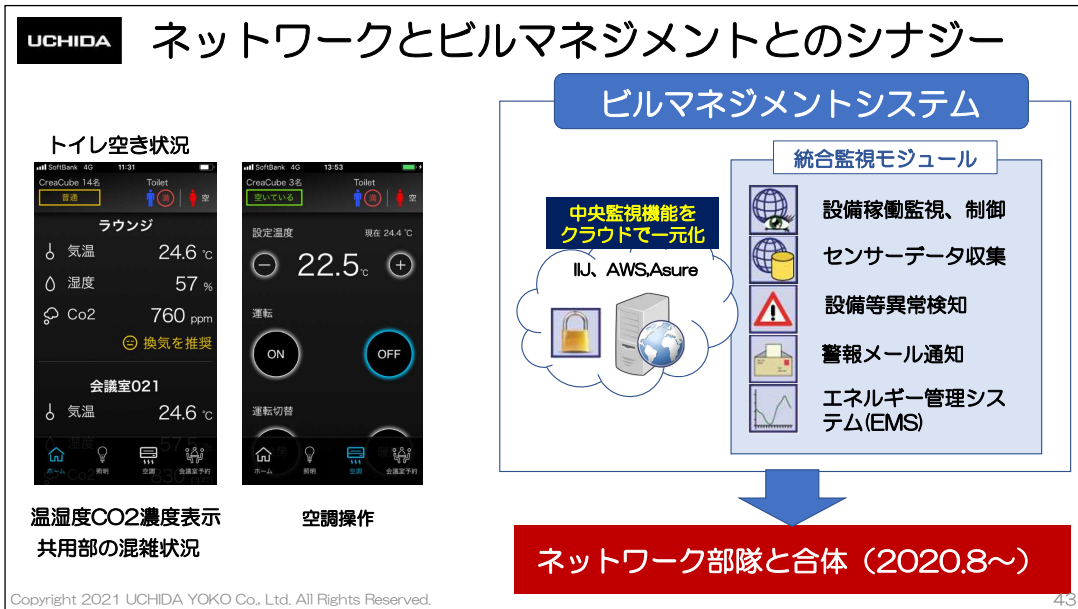
多様なワークシーン

コミュニケーションがとりやすく
自由度の高いテーブルワーク



木に囲まれ触れることで
気分が変わる

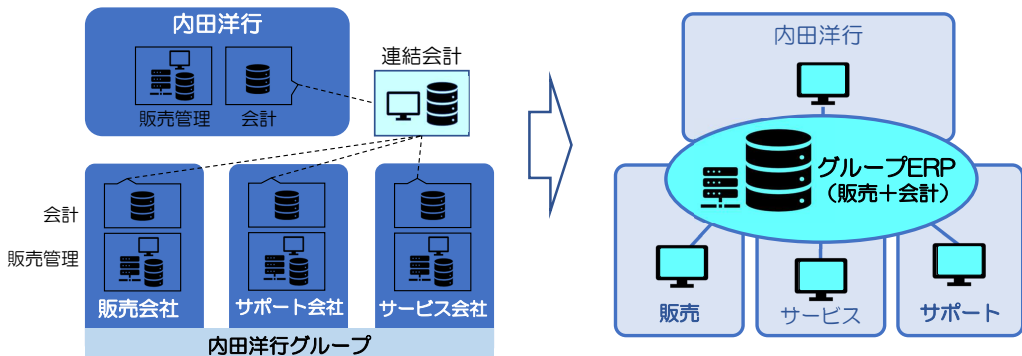




グループマネジメントの強化と見える化

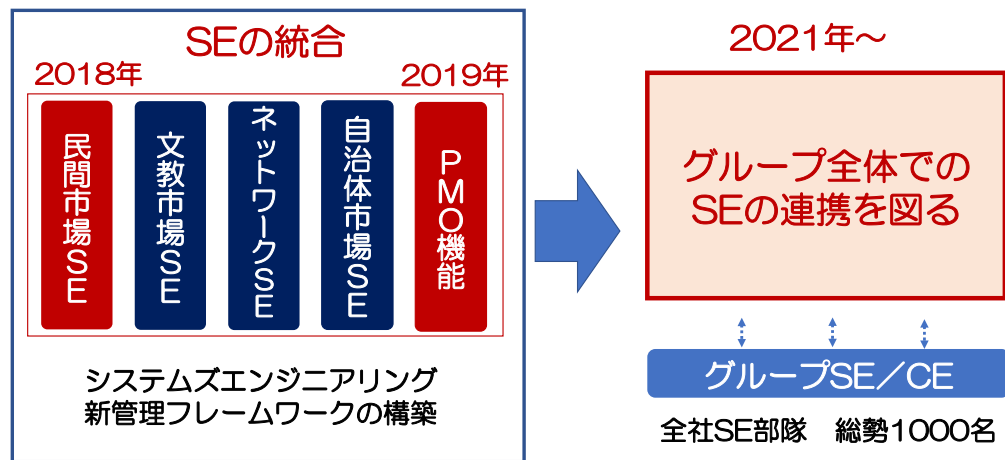
基幹システムのグループ統合・ステップアップ 構築中

- 分散・分断した経営情報をERPで統合
グループレベルでビジネスを可視化



システムエンジニア (SE) のグループ連携

SEの統合効果をグループ全体に展開する (着手)



社会構造変化で社会ニーズが大きく変わる



「人をどういかにするか」と「ICTの活用」が共通

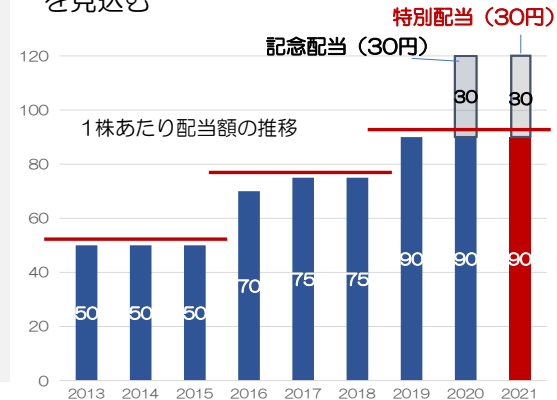
人口減少社会に「Society5.0」の実現で貢献

株主還元の基本方針について

- 安定的な配当を前提
- 将来リスクを勘案した「財務基盤の充実」と「中長期の経営戦略実現に向けた投資」とのバランスをとる

より一層、株主様への還元の充実を目指す

2021年7月期は昨年につづいて
最高益を達成したことから特別配当30円
を見込む



創業111周年

2021
111th
UCHIDA

Uchida Yoko Group
111th Anniversary

情報の価値化と知の協創をデザインする。
2021年、内田洋行グループは111周年を迎えました。
変遷を経てきたのは開拓を続けるDNA。これまで
培ってきた膨大なデータや知見を、ICTやIoT、AIと
いった先進のテクノロジーで人が創造力を最大限に
発揮するために、私たちがこれから起こすイノベー
ションが、まだ誰も想像していない新しい世界をつくる。

UCHIDA

Copyright 2021 UCHIDA YOKO Co., Ltd. All Rights Reserved.

49

UCHIDA

資料についてのご注意

本資料に記載いたしました業績見通し、戦略、計画等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見込みでございます。これらは現時点において入手可能な将来の動向等の各種情報に基づいて経営者が判断したものであり、不確定な要素を含んだものです。

したがって実際の業績は、内外のさまざまな要因により、見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

Copyright 2021 UCHIDA YOKO Co., Ltd. All Rights Reserved.

50